

## 1 題材名 罪悪感

## 2 授業のねらい

- ・「罪悪感」について知り、「罪悪感」の感じ方は、「わざと」した場合と「偶然」の場合で異なることに気づく。
- ・「罪悪感」という感情を持った時の対処の仕方について考える。

## 3 本時の展開

時間	学習活動（教師の働きかけ・児童の反応）	指導上の留意点
0	<p>○「罪悪感」について知る。</p> <p>牛乳をこぼして、友だちの赤白帽が汚れた時、どんな気持ちになりますか。</p> <p>・どうしよう ・友だちに悪いな</p> <p>自分がしたことで「悪いな」「申し訳ない」と思う気持ちを罪悪感と言います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布する。</li> <li>・「罪悪感」について学ぶ。</li> </ul>
5	<p>○ どのような場面で、罪悪感を感じますか。</p> <p>・宿題を忘れた時 ・友だちのものを壊したとき…</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに個人で書き、発表させる。</li> </ul>
10	<p>○ わざとと偶然の「罪悪感」の感じ方の違いを考える。</p> <p>罪悪感の強さは、時間がたつとどのように変化するでしょうか。A、Bそれぞれの場面について、その瞬間その後の気持ちの強さを考えてグラフを書きましょう。</p> <p>A…教室でキャッチボールをしていたら、ボールが外れて、教室の棚に傷がついた。 B…教室でキャッチボールをしていたら、「へたくそ！」と言われた。ムカムカしたので、棚に向かってボールを投げつけて、棚を壊した。</p> <p>A…友だちの物を壊してしまった時は、すごく「悪いな」と感じるから、強さは「強」その後もずっと「強」など。 B…友だちに嫌なことを言われてイライラしてやったので、その瞬間の罪悪感「弱」は、時間がたつとだんだん強くなる。など</p> <p>AとBで違いがありますか。どんな違いでしょうか。</p> <p>・Aは「たまたま」、Bは「わざと」</p> <p>「たまたま」起こした時も、「わざと」やった時も自分が悪いことをしたので、結局「悪かった」と罪悪感を持ってしまう人が多いようです。</p>	<p>(個人→グループ→全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その瞬間とその後の気持ちの強さをグラフに記入させる。(強さは弱中強)。また、その強さにした理由も書かせる。</li> <li>・数名を指名し、グラフを発表させる。</li> <li>□「偶然」怒ってしまった出来事や「わざと」した出来事で感じる「罪悪感」を自分なりに考えることができたか。</li> <li>・「わざと」したことと「偶然」起こったことの違いに気付かせる。</li> <li>・「わざと」や「偶然」など言葉が出てこなければ、教師が促す。</li> <li>・「偶然」起こってしまった場合と「わざと」した場合の対処法について考える。</li> <li>□「罪悪感」の対処法を自分なりに考えることができたか。</li> </ul>
35	<p>○「罪悪感」の対処法について知る。</p> <p>「罪悪感」があると、気持ちはすっきりしていますか。どうしたら「罪悪感」をなくしたり弱めたりできでしょうか。</p> <p>・正直に話して謝る ・謝ってもうしないと約束する</p>	
43	<p>○ 今日の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことや気づきを発表する。</li> </ul>